

藤久保地域拠点施設整備事業 今後のスケジュール

※官民連携手法の場合

令和2年度	3月 オンライン説明会
令和3年度	4月 パブリックコメント実施 6月 基本計画公表 住民説明会(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者の募集要項作成 ・整備コンセプト ・スペック(性能) ・構造や設備 ・官民の役割分担 ・提供サービスの概要 など
令和4年度	事業者の募集 事業者の選定 事業者決定・契約
令和5年度	設計・建設工事
令和6年度	
令和7年度	
令和8年度	供用開始予定

基本計画の策定と住民説明会

これまで以上に質の高いサービスの提供が期待されます。

現在、町では藤久保地域拠点施設基本計画(以下、「基本計画」)の策定を進めています。基本計画は、今後の設計や施工、管理、運営などの基礎となるもので、主に①施設整備計画、②管理運営計画、③事業手法の3つを定めています。基本計画では、住民の皆さん



ぜひ計画を見てね!

の意見を様々な方法で積極的に取り入れることを重視。住民アンケートの他、現在の藤久保地域拠点施設の主な利用団体へヒアリングを実施して現状課題を把握したり、有識者と地域住民による検討委員会を設置して議論を重ねるなど、住民の皆さんの意見を反映した計画策定に努

めてきました。

今後、4月にパブリックコメント(計画案に対する住民の皆さんからの意見公募)を実施し、寄せられた意見を考慮して策定した基本計画を今年6月に公表する予定です。

それに先立ち、3月に基本計画の全体像を報告するためのオンライン説明会を実施します(左下参照)。

未来をつくる応援団に

三芳町の皆さんに関心を持つ



みんなで三芳の拠点をつくらう!

でもらいたい藤久保地域拠点施設整備事業。この拠点は、今後のまちづくりの中核的な役割を果たし、将来にわたって多くの住民が快適に利用できる施設をめざしています。皆さんも、三芳の未来拠点を一緒につくる応援団になってみませんか。



●1月13日開催のPPP/PFIセミナーの様子。藤久保地域拠点施設整備事業の民間活用を検討するため、知識と理解を深めます。

考えたい、官民連携。

民間サービスが充実している昨今、民間の創意工夫を質の高い公共サービスにつなげる仕組みを考えることも重要になってきています。

藤 久保地域拠点施設整備事業では、町と民間が連携して公共サービスを提供する「PPP/PFI(※)」の導入を検討しています。

PFIとは、公共施設等の整備や運営に民間の資金やノウハウを活用して、効率的かつ効果的に公共サービスの提供を図る考え方のこと。導入するためには、今後さらに慎重な検討が必要となりますが、民間の活力が公共サービスの水準向上に結びつく仕組みをつくることで、こ

官民連携がなぜ必要か?

民間の創意工夫でサービス水準を向上

三芳町PFIアドバイザー
中央大学総合政策学部
川崎 一泰 教授

町と民間の協働がより良いサービスを生む

住民ニーズの多様化や限られた人員と財政の中、町は公共サービスの質を維持・向上させてきました。一方、民間は一昔前と比べて格段にサービスが充実し、様々な分野で効率化・良質化を実現してきました。町と民間の協働により相乗効果生まれ、さらに質の高い公共サービスが提供できる時代が到来しています。

民間のイノベーションを公共サービスに

民間には、今まで培ってきたノウハウや社会貢献に対する動機(モチベーション)があります。民間の創意工夫やイノベーションを公益(町のため)につなげ、公共サービスとして活用す

ることができれば、町全体のサービス水準は大きく向上するはず。それには、民間サービスを公益に結びつける制度設計が鍵になります。

重要なのはどんなサービスが提供されるか

町と民間の役割分担により、公共サービスの質が上がれば住民の暮らしも豊かになり、それが地域の活性化にもつながります。重要なのは、誰がやるかではなく、どんなサービスが提供されるかです。



(*) PPP/PFI...官民が連携して公共サービスの提供を行うスキームをPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ:官民連携)と呼ぶ。PFIはPPPの代表的な手法の一つ。